校訓	自分を育て 自分を生かし 社会を明るく	令和2年度　学校だより 「天の子」 第9号	発行日	令和2年9月17日
教育目標	夢と誇りのある生徒の育成 ～自分の意志・判断で自ら責任をもち行動する態度を育てる～		発行者	伊丹市立天王寺川中学校 校長　前田 徳三

【 挨 拶 】

日々、学校には、市教育委員会や地域のみなさん、業者の方等、多くの方々が訪問されます。そこで、「ここの生徒さんや先生は明るくて、よく挨拶をしてくれますね」とお褒めの言葉を聞く機会が増え、その言葉にとてもうれしく思います。

挨拶とは、もともと禅の言葉で、「挨」は「押し開く」、「拶」は「迫ること」という意味があるらしいです。つまり、師匠が弟子に問答を迫って悟りを試す、あるいは修行をしている者同士が問答を繰り返して、切磋琢磨するというのが本来の意味であったようです。これが「人に近づき、心を開く際の言葉や動作」を示すようになったそうです。

つまり、挨拶とは、自ら心を開き、相手の心に飛び込んでいくことに通じます。そのため、挨拶には、友好の意思や親愛の情がこもったものにつながります。挨拶は、人として、基本のマナーですが、どのような効果があると思いますか。

相手に感謝を伝えられる

挨拶を通して、簡単に相手に感謝を伝えられます。例えば、「ありがとうございます」「お疲れ様」「お世話になりました」等、相手に感謝の言葉を伝えれば伝えるだけ、自分にも返ってきます。感謝で溢れた素敵な日々を過ごしましょう。

相手によい印象を与える

人と接するときは、第一印象が大切だとよく言われます。爽やかなあいさつで損をすることはありません。これから、多くの人と関わる機会がたくさんあります。多くの人と接するときに、爽やかな挨拶でよい印象を与えましょう。

人と仲良くなるきっかけになる

挨拶は、人と仲良くなるための一歩です。何回も挨拶を繰り返すことで、相手もあなたに心を開きやすくなり、人とのコミュニケーションを図ることに繋がります。

相手の存在を認めていることを示せる

「心を開く」ということは、「相手を認める」に繋がります。人は「自分がいるのに挨拶されないと無視されているのかな」と嫌な気持ちになることがあります。反対に、人は挨拶をされると嬉しい気持ちになりますね。

緊張をほぐせる

挨拶は、緊張をほぐす効果があります。緊張していても挨拶をされるとほっとしますし、自分も声を出すことで緊張がほぐれます。笑顔で爽やかな挨拶できる習慣をつけていきましょう。

挨拶はコミュニケーションの基本です。挨拶を交わすことにより、人間関係を和やかなものにし、自分のみならず、他の人の心も温かくすることができます。これからも爽やかな挨拶が飛び交う天中になればと願います。

【書物は自分の「土台」になる】

秋は読書に一番適した季節であるということを指して、「読書の秋」と言います。本を読めば読むほど、「世の中には色々な人がいて、いろんな生き方や考え方がある」ことを知ることができます。すると、周りのみんなと違うことがあっても、自分の信念があるので、「自分はこれでいいんだ」と思えます。本には、自分の知りたいことを深く知ることができるとともに、新たな気づきもあります。本には自分が今後、生きて行く上で多様な考えを生む土台にもなります。学校司書の野口先生や図書ボランティアの上中さんらの協力も得て、図書室にたくさんの本を整理して置いています。読書の秋に、図書室でたくさんの本を借りて読んでください。

【全国学力・学習状況調査】

令和２年度全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の学校教育への影響等を考慮され、実施されませんでした。しかし、子どもたちの学力・学習状況を把握、直視し、その後の授業改善に有効に活用するため、本校では、８月３日（月）に３年生全クラスで実施いたしました。今年度は、全国と比較した数値はありません。国語においては、「話すこと」「聞くこと」「伝統的な言語文化等」については高い傾向が見られましたが、「書くこと」「読むこと」ではやや低い傾向が見られました。数学においては、「数と式」「資料の活用」については高い傾向が見られましたが、「図形」「関数」ではやや低い傾向が見られました。また、記述式問題に課題があることが分かりました。そのため、①毎授業の「振り返り」の時間等を活用して、自分の考えを簡潔に記入する。②長文を読み解き、内容を理解する中で、要約、再構築し、自分のことばで記載する。③表やグラフ等の資料を的確に読み取り、自分の考えを理論的、簡潔に記載する等の取組を行ってまいります。

また、「自分にはよいところがある」「先生はあなたのよいところを認めてくれる」「人の役に立つ人間になりたい」「いじめはどんな理由があってもいけないこと」等が本校の過去５年間の結果と比較すると肯定的な意見が上昇傾向でありました。ただ、家庭学習では、３時間以上学習する生徒が 9.4％と過去５年間で最も高かったのですが、１時間未満の生徒が 54.3％と半数以上もいました。さらに、１日の読書時間は、全く本を読まないと答えた生徒が 64.2％もいることが分かりました。

学校におきまして、家庭学習を充実させるための適切な宿題の提示や、読書教育を推進していきます。各家庭におかれましても、家庭学習や読書の習慣についてご協力いただきますようお願いいたします。

【親子で話し合ってください】

１階から５階まで５秒でいくエレベーターがあります。１階から２５階までいくのには何秒かかるでしょう。説明もつけて親子で話をしてください。　（解答は３０秒です。）